

◆本紹介

「保育が見えるおたよりづくりガイド」

大豆生田 啓友 著

子ども・子育て新制度への移行により、「直接契約」が幼稚園、保育園のスタンダードとなることで、保護者に自園の特徴を分かりやすく伝え、アピールすることの重要



度が、さらに高まる。そんな時代、「おたより」が単なる「連絡」から、子どもの育ちを伝えるツールとなると、クレームが増え、

自然と園児が集まってくると指摘する。そんな本書は保護者にもっと、子どもの姿や保育の自身が伝わるような「おたより」作りのポイントを掲載した。

具体的なエピソードで語る。読みたくなる構成を工夫する。保育者の思い（「メッセージ」）を盛り込むなどの10のポイントは、いつもの「おたより」を、いまずぐ振り返ってみる契機になる。

また「おたより」だけでなく、連絡帳や懇談会、児童票の工夫も提示。日々の出来事を掲示する「ボード」や「ドキュメンテーション」、ブログなども、新たなコミュニケーションツールの活用方法として、園の実践を踏まえて紹介している。

イラスト、お便り用フォーマットを収録したCD-ROM付き、1890円。

赤ちゃんとママ社

03・53367・6599